

# 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

資料4

## 基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-1「ブランド化、生産・販路拡大への取組」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●GAP等認証制度の推進</li> <li>●女性の経営参画の促進</li> <li>●高収益園芸品目への転換支援</li> <li>●異業種法人等企業参入の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規就業者の確保・育成</li> <li>●農地利用集積の推進</li> <li>●情報発信の強化</li> <li>●日本型直接支払制度の推進</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
				農業生産額	82億円	65億円
				加工品ブランド認証数（累積）	50品目	26品目

### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価		
													所管課の所見	今後の方針	
1	安全・安心農業推進事業	農業振興課	安全・安心な農業を推進することにより、生産者と消費者の相互理解を深め、本市の地域性を生かした持続型農業の確立を図る。	土壌分析の実施（2団体） 土壌分析講習会の開催（1回） GAP認証取得支援（6名）	① GAP認定取得件数	件	目標値	1	1	1	1	1	安全・安心農業を推進することを目的として、有機農業の実践や緑肥施用による取組を市内2団体（豊後大野市有機農業推進協議会（2名）・朝地町平井川保全会（4名））が実施した。事業効果の検証を目的として、土壌分析を実施し、分析結果をもとに講習会を開催することができた。課題としては、有機農業に取り組む農家が年々減少していることがあげられる。国は環境負荷低減を目的として「みどりの食料システム戦略」を策定、推進していることから、前述の2団体以外に有機農業に取り組む生産者を募るため、市ホームページ等で幅広く事業の周知を行っていく必要がある。 GAP認証取得支援については、ピーマン生産者6名が取得したことからGAP認証取得支援事業補助金を支出した。JA等農業団体とも連携して、引き続きGAP認証取得支援を図っていきたい。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善	
							実績値	0	0	6	-	-			
							%	達成率	0%	0%	600%	-			-
						② -	名	目標値	-	-	-	-			
								実績値	-	-	-	-			-
								%	達成率	-	-	-			-
2	新規就農支援交付金事業	農業振興課	50歳以上55歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。	50歳以上55歳以下の新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とし実施した。 ■交付金の交付 2名（9か月分）	① 営農継続者数	名	目標値	4	6	8	10	12	国の給付金の支援対象とならない新規就農者を支援する市独自の事業であり、交付金を交付することで就農初期の経営を支援し、定着を図ることができた。 今回の対象はインキュベーションファームの研修修了生で、国の年齢要件である就農時49歳未満に該当せず市の交付金を交付したものである。 対象となる年齢層で新規就農を始める方が少ないところであるが、国の事業の対象とならない者を支援する目的として制度は必要であり、インキュベーションファームの応募資格が55歳未満となっていることから、継続は必要である。	A.現状のまま継続	
							実績値	4	4	4	-	-			
							%	達成率	100%	67%	50%	-			-
						② -	名	目標値	-	-	-	-			
								実績値	-	-	-	-			-
								%	達成率	-	-	-			-

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-1「ブランド化、生産・販路拡大への取組」	具体的な取組	●GAP等認証制度の推進 ●女性の経営参画の促進 ●高収益園芸品目への転換支援 ●異業種法人等企業参入の推進	●新規就業者の確保・育成 ●農地利用集積の推進 ●情報発信の強化 ●日本型直接支払制度の推進	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
				農業生産額	82億円	65億円
				加工品ブランド認証数（累積）	50品目	26品目

#### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価		
													所管課の所見	今後の方針	
3	新規就農者負担軽減対策事業補助事業	農業振興課	認定新規就農者・認定農業者及び配偶者の産前産後における外部雇用に係る経費の助成及び就農初期の経営安定に向けた所得を補てんする経費の助成を行い、円滑な経営開始等を支援することを目的とする。	配偶者が妊娠中で、農作業サポート支援を検討していた方が1名いたが、最終的に事業を活用しなかった。	① 営農継続者数	名	目標値	20	24	28	32	36	農作業サポート支援、新規就農者向け所得安定対策ともに県の事業を活用している。農作業サポート支援については、対象者が令和5年度から認定新規就農者に加え認定農業者に拡大された。認定新規就農者・認定農業者及びその配偶者の妊娠等により、農業へのサポートが必要な時期への支援は重要で必要な事業である。 農作業サポート支援については、令和6年度から支援する期間が拡充される予定となっている。	A.現状のまま継続	
							実績値	18	19	19	-	-			
							%	達成率	90%	79%	68%	-			-
							② -	目標値	-	-	-	-			-
							実績値	-	-	-	-				
							%	達成率	-	-	-	-			
4	農業次世代人材投資事業補助事業	農業振興課	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営開始型の資金を交付する。	次世代を担う青年の就農意欲の喚起と、就農直後の経営確立を支援することを目的とし、25名に資金を交付した。	① 営農継続者数	名	目標値	75	79	83	87	91	新規就農者の就農意欲を大きく後押しする国の事業で、これまでも本市の新規就農者の確保に大きな成果を上げてきた。令和3年度にこの名称での受付分は終了（別名称で令和4年度から期間が5年から3年に短くなったが実施中）しているが、今年度も交付継続者への交付、交付修了者の就農状況を確認するとともに、営農相談を行い確実な定着に向け事業を行った。課題は青年等就農計画で策定した目標を確実に達成できるよう、交付期間中交付期間後を含めて関係機関とサポートしていくことである。	A.現状のまま継続	
							実績値	78	84	84	-	-			
							%	達成率	104%	106%	101%	-			-
							② -	目標値	-	-	-	-			-
							実績値	-	-	-	-				
							%	達成率	-	-	-	-			
5	新農業者協議会補助事業	農業振興課	豊後大野市新農業者協議会の活動費の一部を補助することにより、農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修を実施することを目的とする。	農業青年・新規就農者・女性農業者等が、将来に向け農業技術・経営管理知識等を習得するための各種研修会を開催した。 ■脳業塾の開催 ■経営研修会の開催 ■先進地視察研修 熊本県長洲町	① 会員数の確保	名	目標値	50	50	50	50	50	就農初期の農業青年・新規就農者・女性農業者等が、様々な研修や交流を行う組織として存在意義は高い。 例年開催している脳業塾は今後の農業経営に大いに貢献しているが、来年度にインキュベーションファーム事業とあわせ一部の内容及び参加者の範囲について見直しを行う予定である。	A.現状のまま継続	
							実績値	52	56	60	-	-			
							%	達成率	104%	112%	120%	-			-
							② -	目標値	-	-	-	-			-
							実績値	-	-	-	-				
							%	達成率	-	-	-	-			

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-1「ブランド化、生産・販路拡大への取組」	具体的な取組	●GAP等認証制度の推進 ●女性の経営参画の促進 ●高収益園芸品目への転換支援 ●異業種法人等企業参入の推進	●新規就業者の確保・育成 ●農地利用集積の推進 ●情報発信の強化 ●日本型直接支払制度の推進	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
				農業生産額	82億円	65億円
				加工品ブランド認証数（累積）	50品目	26品目

#### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
6	女性就農者確保対策事業補助事業	農業振興課	就労環境等の整備を図ることにより、女性就農者の促進を図ることを目的とする。	2経営体で事業実施。トイレの改修、簡易トイレの整備、草刈り機の購入を行い、女性就農者の就労環境の整備を図った。	① 女性就農者数	名	目標値	1	1	1	1	1	女性就農者の就労環境整備に関する事業はこれまで希望する多くの声があった。それを補完する県単事業で本市では令和3年度の補助事業開始から令和5年度までに5法人が事業を実施している。しかし、県が令和6年度に事業を廃止した。今後は、事業実施を行った5法人の実績状況報告を令和8年5月まで県へ提出が必要となっている。 昨年度、認定農業者に要望調査を行ったが令和6年度事業要望はなかった。事業としては女性農業者の環境整備は重要だと考えられるので、担い手育成基金を使用した事業全体の見直しの中で、市単独で実施するのかなど検討を行う必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	0	1	27	-	-		
							%	達成率	0%	100%	2700%	-		
						%	目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							%	達成率	-	-	-	-		
7	事業事務委託事業	農業振興課	農地中間管理事業の円滑な事業推進を図る。	・事業推進員2名を雇用 ・地区説明会の開催 7回 ・R5年度集積面積 59.9ha（うち新規30.3ha）	① 担い手への農地集積	ha	目標値	35	35	35	35	35	農地利用最適化推進委員会への説明会の開催により地元関係者へ制度の周知が図れ、令和5年度の成果指標の目標は概ね達成出来た。 今後も新規の集積の拡大に努めるとともに、令和6年度以降は制度開始後10年を経過し初期に取扱いされた契約が更新を迎えるため、更新の案内を行うなど継続に向けた取組が重要となる。	A.現状のまま継続
							実績値	40	47	30	-	-		
							%	達成率	114%	134%	86%	-		
					%	目標値	-	-	-	-	-			
						実績値	-	-	-	-	-			
						%	達成率	-	-	-	-			
8	機構集積協力金交付金事業	農業振興課	担い手への農地の集積・集約化を加速させるため、機構を通じた農地の集積・集約化等を促進する。	機構集積協力金 1,826,400円の交付 <内訳> ・地域集積協力金 3地区 661a 1,650,000円 ・経営転換協力金交付事業 6戸 176a 176,000円	① 担い手への農地集積	ha	目標値	35	35	35	35	35	まとまった農地の貸付を希望する地域や農業部門の減少、リタイアを機に農地の貸付を希望する個人に対して協力金を交付することで、農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積が図られた。また、将来の地域内の農地について住民同士が話し合うきっかけとなった。 令和6年度以降は、制度開始後10年を経過し初期に取扱いされた契約が更新を迎えるため、更新の案内を行うなど継続に向けた取組も必要。	A.現状のまま継続
							実績値	40	47	30	-	-		
							%	達成率	114%	134%	86%	-		
					%	目標値	-	-	-	-	-			
						実績値	-	-	-	-	-			
						%	達成率	-	-	-	-			

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-1「ブランド化、生産・販路拡大への取組」	具体的な取組	●GAP等認証制度の推進 ●女性の経営参画の促進 ●高収益園芸品目への転換支援 ●異業種法人等企業参入の推進	●新規就業者の確保・育成 ●農地利用集積の推進 ●情報発信の強化 ●日本型直接支払制度の推進	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
				農業生産額	82億円	65億円
				加工品ブランド認証数（累積）	50品目	26品目

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価		
													所管課の所見	今後の方針	
9	JAおおいたぶんど大野生産部会補助事業	農業振興課	JAおおいたぶんど大野生産部会に所属する各部会の取組を支援し、農業産出額の向上につなげ、農業所得、経営の安定を図る。	JAおおいた豊後大野生産部会に対し、活動補助金を交付、部会ごとに安全で安心な食糧を安定的に供給する体制づくりを行った。	① 年間農業産出額 82億円	億円	目標値	82	82	82	82	82	JAおおいた豊後大野生産部会連絡協議会（21部会）に対し、部会ごとの活動を支援するとともに、販売促進活動の一環で行うトップセールスの取組にも市として合同で行うなど、部会活動を支援した。 各部会においても単独で市場への販売促進活動を実施するなど、コロナ禍前の取組に戻りつつある。栽培技術講習会の開催や目揃え会の実施など、販売額向上の取組に積極的に取り組んでいただいております。引き続き部会活動の支援を図ってまいります。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善	
							実績値	62	63.4	65.4	-	-			
							%	達成率	76%	77%	80%	-			-
							目標値	-	-	-	-	-			
							実績値	-	-	-	-	-			
							%	達成率	-	-	-	-			-
10	園芸産地整備事業	農業振興課	水田の畑地化による米から高収益な園芸品目への生産転換を加速するとともに、園芸団地づくり計画に位置づけられた大規模園芸産地の育成を重点的に推進し、農業産出額の向上をめざすもの	県補助事業を活用し、園芸産地づくりを推進するための栽培施設、生産基盤、機械施設等整備に対し補助金を交付。 事業実施品目：ピーマン、かんしょ、小ねぎ、キク、くり、かぼす	① 園芸重点品目の販売金額 26.4億円	億円	目標値	26.4	26.4	26.4	26.4	26.4	県補助事業を活用してピーマンハウス栽培施設整備事業をはじめ、生産基盤整備事業、農業用機械整備事業等に取り組んだ。生産者からの事業要望に対し、支援を行うことができた。 事業を行う上での課題として、資材高騰により、農業用機械本体、ハウス資材費等の単価が上がっていることがあげられる。円安の影響もあり、高止まりの状況が続いているため、生産者の経営状況等にも配慮しながら事業を組み立てていきたい。また、農業用機械の種類によっては、注文から納品まで長期間を要するものもあるため、事業計画申請から交付決定、着手までを速やかに進められるようスケジュール管理の徹底を図りたい。	B.見直しの上で継続-1 拡充	
							実績値	26.1	24.9	32.8	-	-			
							%	達成率	99%	94%	124%	-			-
							目標値	-	-	-	-	-			
							実績値	-	-	-	-	-			
							%	達成率	-	-	-	-			-

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-1「ブランド化、生産・販路拡大への取組」	具体的な取組	●GAP等認証制度の推進 ●女性の経営参画の促進 ●高収益園芸品目への転換支援 ●異業種法人等企業参入の推進	●新規就業者の確保・育成 ●農地利用集積の推進 ●情報発信の強化 ●日本型直接支払制度の推進	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
				農業生産額	82億円	65億円
				加工品ブランド認証数（累積）	50品目	26品目

#### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
11	営農普及サポート支援事業	農業振興課	JA等農業団体、県及び市行政等による営農普及指導体制の確立を図るとともに、食農教育の推進に向けた取り組みを支援する。	営農普及協力員の配置（3名）を行った。内訳はピーマン1名、かんしょ1名、白ねぎ1名。	① 営農普及協力員の指導、相談対応件数	回	目標値	27	27	27	27	27	営農支援体制を強化することを目的として、園芸重点推進品目のうち、県の短期集中支援品目であるピーマン、かんしょ、白ねぎについて 営農普及協力員の配置を行うこととした。人選については、ピーマン、かんしょは指導農業者を各1名選任、白ねぎについては元県白ねぎ技術支援アドバイザーを1名選任。活動内容は、作付け経験の浅い生産者（新規作付けから概ね3年以内）や単収の低い生産者を中心に巡回指導により底上げを図るというものである。指導にあたっては、豊肥振興局生産流通部の普及員、JA豊肥営農経済センター指導員、市担当者が営農普及協力員とともに巡回指導に当たる形で実施しており、生産者からも良い評価をいただいていると判断している。令和6年度においても営農普及協力員謝礼金の予算を確保しており、引き続き営農指導の強化を図っていくこととする。	B.見直しの上で継続-3 効率化/RPA等
							実績値	11	0	10	-	-		
						%	達成率	41%	0%	37%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		
12	流通・販売戦略推進事業	農業振興課	産地収益力向上をめざした生産から流通、販売、消費までを捉えた販売戦略を構築することを目的として、トップセールスによる販売促進や本市HPの見直しを行うもの。	・トップセールスの実施 ・大分の野菜畑豊後大野ホームページ保守管理委託料264千円	① 年間農業生産目標額 82億円	億円	目標値	82	82	82	82	82	販売促進におけるトップセールスを4年ぶりに福岡中央卸売市場において実施した。セリ場での市長からの売り込みに加え、福岡大同青果社長ほか市場関係者との取引協議を実施し、消費者及び市場のニーズの聞き取りも行うことができた。市場からは産地の維持に加え、市場への安定供給に引き続き努めてもらいたいという要望をいただいたことから、引き続き、JA等農業団体と連携して産地化、ブランド化に努めていきたい。 大分の野菜畑豊後大野ホームページについては、園芸重点推進品目の紹介や各種行事のお知らせなど、PRに努めた。引き続き、情報発信に努めるとともに、アクセス数向上策の検討する。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
							実績値	62	63.4	65.4	-	-		
						%	達成率	76%	77%	80%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-1「ブランド化、生産・販路拡大への取組」	具体的な取組	●GAP等認証制度の推進 ●女性の経営参画の促進 ●高収益園芸品目への転換支援 ●異業種法人等企業参入の推進	●新規就業者の確保・育成 ●農地利用集積の推進 ●情報発信の強化 ●日本型直接支払制度の推進	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
				農業生産額	82億円	65億円
				加工品ブランド認証数（累積）	50品目	26品目

#### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
13	ブランド認証・特産品PR事業	商工観光課	市内で生産された、農林水産物等を活用した加工品等の商品を豊後大野市ブランドとして認証するなどして、広く情報発信することで、消費拡大、地域産業の振興、地域経済の活性化を図るとともに、豊後大野市の魅力を向上させることを目的としています。	○新規ブランド認証品の審査選定 ○県公式オンラインショップ販促事業委託（本市産品への割引クーポン付与） ○PRイベント等実施委託	① ブランド認証品数	品	目標値	15	20	30	40	50	豊後大野市ブランド認証制度を検証した結果、今後も引き続きブランド認証や特産品のPRを推進する必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	14	24	26	-	-		
						%	達成率	93%	120%	87%	-	-		
						千円	目標値	10000	15000	17000	18000	20000		
							実績値	14000	20506	18132	-	-		
							%	達成率	140%	137%	107%	-		
14	企業等農業参入推進事業補助事業	農業振興課	県外の優良な企業的農業経営体の誘致や市内外の意欲ある他産業企業からの農業参入を推進することを目的とする。	当初1事業者の実施を予定していたが、別の補助事業を活用したため実施しなかった。	① 年度毎の参入数	社	目標値	2	2	2	2	2	農業への企業参入は、市にとって大きな効果をもたらされる。本年度も5事業者から相談があったが、事業の活用には至らなかった。 企業参入は大変有効な手段ではあるが、これまで参入した企業の中には企業参入のお手本となる優良企業もあれば、撤退・休止といった企業も少なくない状況となっている。 このことから参入にあつたては、企業のこれまでの実績、経営計画が確実に達成できる計画になっているかなどを確認するとともに、関係機関との情報共有と支援が必要不可欠となっている。今後も県等と連携を取りながら、企業参入を推進する。	A.現状のまま継続
							実績値	2	1	0	-	-		
						%	達成率	100%	50%	0%	-	-		
						-	目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							%	達成率	-	-	-	-		
15	環境保全型農業直接支払交付金事業	農業振興課	環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、交付金の直接支払を行うもの	事業実施者：豊後大野市有機農業推進協議会（2戸）、朝地町平井川保全会（4戸） 実施面積：有機農業5.02ha、緑肥施用7.18ha	① 緑肥施用、有機農業の実施	ha	目標値	13.9	14	14	14	14	環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者（農業団体）に対し、交付金の直接支払を行う「環境保全型農業直接支払交付金事業（国庫事業）」に取り組んだ。市内2団体（豊後大野市有機農業推進協議会（緒方町2戸）、朝地町平井川保全会（朝地町4戸））が継続して取り組んでいるが、事業参画者の増には至っていない。 国は「みどりの食料システム戦略」の中で環境負荷低減に取り組む生産者の支援を打ち出していることから、引き続き本事業に取り組む生産者を支援を行っていく。また、新たに減農薬、減化学肥料栽培に取り組む生産者に対しても本事業の周知徹底を図ることとする。	A.現状のまま継続
							実績値	11.86	12.72	12.2	-	-		
						%	達成率	85%	91%	87%	-	-		
						-	目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							%	達成率	-	-	-	-		

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-1「ブランド化、生産・販路拡大への取組」	具体的な取組	●GAP等認証制度の推進 ●女性の経営参画の促進 ●高収益園芸品目への転換支援 ●異業種法人等企業参入の推進	●新規就業者の確保・育成 ●農地利用集積の推進 ●情報発信の強化 ●日本型直接支払制度の推進	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
				農業生産額	82億円	65億円
				加工品ブランド認証数（累積）	50品目	26品目

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価		
													所管課の所見	今後の方針	
16	多面的機能支払交付金事業	農林整備課	農業や農村が持つ多面的な機能の維持や、機能の発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動組織に対し交付金支出</li> <li>・全組織を対象とした事務説明会を開催</li> <li>・組織からの相談受付</li> <li>・組織への助言及び指導</li> <li>・活動報告書の審査受領</li> <li>・事業拡大のための広報活動</li> <li>・中山間直払いに取組中の集落協定への多面説明会の開催</li> <li>・新規実施希望地区に対する事業の説明</li> <li>・現地調査</li> </ul>	① 取組面積	ha	目標値	2101	1934	1994	2052	2110	取組組織数も農用地面積も現状維持で推移しているが、ねばり強く新規参入を拡充していく。	A.現状のまま継続	
							実績値	2056	1804	1888	-	-			
							%	達成率	98%	93%	95%	-			-
						%	達成率	目標値	-	-	-	-			-
								実績値	-	-	-	-			-
								実績値	-	-	-	-			-
17	中山間地域等直接支払交付金事業	農業振興課	中山間地域等、耕作の条件不利地において、集落協定等を締結し、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対し、田・畑別、傾斜別に単価を設定して直接支払交付金を交付する。	<p>令和5年度は、これまで新型コロナウイルス感染拡大の観点から開催を中止していた各協定を対象とした説明会を開催した。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。</p> <p>その他、各協定による実施状況を確認するため、現地調査及び証拠書類による審査を行った。</p>	① 協定農用地	ha	目標値	2388	2390	2390	2391	2391	令和5年度は集落協定が3増加したことにより、全体の面積は令和4年度の2,407haから18ha増加し2,425haとなった。しかし、交付金額は3加算の減額交付が行われたため、8,225千円減の406,359千円となった。今後も国の予算不足による減額交付が懸念される。 なお、令和6年度は第5期の最終年度となるため、説明会等を通じ各協定への説明や指導を十分に行う必要がある。	A.現状のまま継続	
							実績値	2419	2407	2425	-	-			
							%	達成率	101%	101%	101%	-			-
						%	達成率	目標値	-	-	-	-			-
								実績値	-	-	-	-			-
								実績値	-	-	-	-			-
18	中山間地域等直接支払推進事業	農業振興課	中山間地域等、耕作の条件不利地において、集落協定等を締結し、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対し、田・畑別、傾斜別に単価を設定して直接支払交付金を交付する。	<p>令和5年度は、これまで新型コロナウイルス感染拡大の観点から開催を中止していた各協定を対象とした説明会を開催した。また、市報及びホームページで本制度を紹介し新規の取組を募った。</p> <p>その他、各協定による実施状況を確認するため、現地調査及び証拠書類による審査を行った。</p>	① 協定農用地	ha	目標値	2388	2390	2390	2391	2391	第5期対策4年目が終了した。協定数も増加し全体の面積も維持出来てはいるが、各集落協定では高齢化や役員の固定化など課題も見られる。今後も本制度の周知や地域内での合意形成の重要性を協定役員等に対して説明するなど、集落協定の活動が継続出来るよう対応していくことにより耕作放棄地の増加、農用地の減少を防止する。	A.現状のまま継続	
							実績値	2419	2407	2425	-	-			
							%	達成率	101%	101%	101%	-			-
						%	達成率	目標値	-	-	-	-			-
								実績値	-	-	-	-			-
								実績値	-	-	-	-			-

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-2「企業誘致、創業支援」	具体的な取組	●相談体制の充実 ●情報サービス業、インターネット付随サービス業の誘致 ●先端設備等の導入に取り組む企業に対する支援 ●「テレワーク」の推進 ●中小企業や小規模企業に対する経営安定化の支援 ●個性ある個店への伴走型支援 ●企業合同説明会の開催	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			立地企業数（累積）	10件	9件
			起業・創業件数	22件	8件

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価			
													所管課の所見	今後の方針		
1	商工会補助事業	商工観光課	商工会が行う小規模事業者に対する指導事業及び商工業の振興と安定を図るための事業に要する経費について、補助金を交付する。	・会員事業所からの相談受付及び経営指導 ・各種補助金・給付金等の申請支援 ・創業セミナーの開催	① 商工会員数	人	目標値	856	866	876	886	896	市内小規模事業者の経営維持や改善を図るための経営指導や各種補助金等の支援や創業セミナーの開催等により市内商工業の振興が図られており、今後も会員事業者をサポートし商工業の発展を期するため継続が必要である。	A.現状のまま継続		
							実績値	849	852	848	-	-				
							達成率	99%	98%	97%	-	-				
							② 事業所数	-	目標値	-	-	-			1537	
									実績値	1497	1497	1497			-	-
									達成率	-	-	-			-	-
2	企業誘致推進事業	商工観光課	地域活力の向上や雇用の場の創出のために、企業誘致や地場企業の増設を推進する。	○大分県企業立地推進課との連絡調整 ○企業立地案内冊子の作成・配布 ○立地企業の事業所・工場等への訪問 ○立地企業の工場増設等への支援	① 立地企業数等	社	目標値	7	7	8	9	10	立地企業を訪問し、意見交換をするなどして情報の収集や市の情報提供に努めている。また、企業誘致を促進するための補助制度は引き続き継続する必要がある。	A.現状のまま継続		
							実績値	7	8	9	-	-				
							達成率	100%	114%	113%	-	-				
							② -	-	目標値	-	-	-			-	
									実績値	-	-	-			-	-
									達成率	-	-	-			-	-
3	小規模事業者経営改善資金利子補給補助事業	商工観光課	小規模事業者の経営の安定と発展を図るため、株式会社日本政策金融公庫による小規模事業者経営改善資金の融資を受けた小規模事業者に対し、借り入れた融資にかかる償還利子の一部について、利子補給補助金を交付するもの。	・商工会から請求のあった各債務者の償還利子の一部を要綱に基づき補助した。	① 新規借入額	千円	目標値	300000	300000	300000	300000	300000	市内小規模事業者が、事業継続と経営の安定を図るために利用する融資に対して、市が行う利子補給は、今後も事業者の支援として必要である。	A.現状のまま継続		
							実績値	125400	234700	277650	-	-				
							達成率	42%	78%	93%	-	-				
							② -	-	目標値	-	-	-			-	
									実績値	-	-	-			-	-
									達成率	-	-	-			-	-
4	中小企業振興資金融資関連事業	商工観光課	豊後大野市中小企業振興条例の規定に基づき、中小企業者等に対して必要な施策を講ずることにより、経営の改善及び経営基盤の強化の促進を図り、もって本市の商工業の発展に資することを目的とする。	指定金融機関（大分銀行、県信用組合、豊和銀行）に1千万円ずつ預託し、指定金融機関が豊後大野市中小企業振興資金を市内事業者に貸し付ける際に必要となる保証料補助する制度であるが、実績はなかった。	① 資金貸付件数	件	目標値	3	3	3	3	3	市内の中小企業者等が事業資金の融資を受けやすくするための預託金と保証料補助金であり、今後も本市の産業振興及び創業支援のために必要である。	A.現状のまま継続		
							実績値	3	1	0	-	-				
							達成率	100%	33%	0%	-	-				
							② -	-	目標値	-	-	-			-	
									実績値	-	-	-			-	-
									達成率	-	-	-			-	-
5	求評・商談会委託事業	商工観光課	中小企業・小規模企業活性化基本条例第11条の地域資源の利活用による産業の発展及び創出という基本方針にのっとり、中小企業者等の特産品の販路を拡大する。	○オンライン商談会の開催 ○東京都内や大分市内での本市特産品求評会・PRの実施	① 成約件数	件	目標値	6	7	8	9	10	商談会等の成果の検証を行った結果、今後も本市の魅力発信のために継続する必要がある。	A.現状のまま継続		
							実績値	24	12	23	-	-				
							達成率	400%	171%	288%	-	-				
							② -	-	目標値	-	-	-			-	
									実績値	-	-	-			-	-
									達成率	-	-	-			-	-



# 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-3「先端技術への挑戦」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマート農業の推進</li> <li>●ICTを活用した介護予防システムの導入と推進（再掲）</li> <li>●行政におけるリモートワーク環境の整備やAIやRPAツールの活用</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			スマート農業技術の導入（累積）	3事業	3事業

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	担い手経営強化対策事業補助事業	農業振興課	農業の担い手の確保及び育成を図りつつ、経営規模を拡大することを目的とする。	12経営体が事業実施し、機械導入に伴い約15ha及び肉用牛12頭の規模拡大を行った。	① 経営規模の拡大面積	ha	目標値	60	70	80	90	100	認定農業者、認定新規就農者の確保・育成に取り組む上で、大きく寄与してきた市単独事業である。 今年度は12経営体が事業実施を行った。規模拡大を要件としており、これまで事業の目的を十分に達成していると考えられる。 課題としては、平成28年度から事業を開始しているが、令和5年度末現在で実施が130経営体に留まっており（令和5年度末認定農業者数359）、執行率が36.2%と半数に満たず、補助対象期間終了了が令和7年度を考えると執行率が低い。 また、議会の事務事業評価や認定農業者連絡協議会で複数回利用できる補助制度や補助要件緩和の要望が出されている。 令和7年度にこれまでの実績と効果、担い手育成基金の残高を考慮し、令和8年度から事業を継続するのか、廃止するのかなどを判断する必要がある。	A.現状のまま継続
						実績値	60	73	88	-	-			
						%	達成率	100%	104%	110%	-	-		
					② 経営規模の拡大頭数	頭	目標値	13	15	17	19	21		
						実績値	11	42	54	-	-			
						%	達成率	85%	280%	318%	-	-		
2	重量野菜省力化支援事業	農業振興課	高齢化等により重量物野菜の積み込み等の作業の軽減を図るための経費を補助する	アシストスーツ導入支援：4件	① 補助金交付件数	件	目標値	3	3	3	0	0	園芸重点推進品目のうち、重量野菜であるかんしょ、さといもの生産振興を図るため、農作業の省力化を目的としたアシストスーツの導入推進を図った。令和4年度導入実績が1基であったことから、栽培講習会時にデモ機による実演会を実施するなど、積極的なPRに努め、4基の導入支援に繋げることができた。引き続き、生産者へのPRに努め、農作業の省力化に資する取り組みとして推進を図っていきたい。令和6年度においてもデモ機の実演会等を計画したい。	B.見直しの上で継続-1 拡充
						実績値	3	1	4	-	-			
						%	達成率	100%	33%	133%	-	-		
					② -	件	目標値	-	-	-	-			
						実績値	-	-	-	-	-			
						%	達成率	-	-	-	-	-		

# 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標①「豊かなくらしとしごとを創る」

基本的方向①-3「先端技術への挑戦」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スマート農業の推進</li> <li>●ICTを活用した介護予防システムの導入と推進（再掲）</li> <li>●行政におけるリモートワーク環境の整備やAIやRPAツールの活用</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			スマート農業技術の導入（累積）	3事業	3事業

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
3	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	農業振興課	園芸重点品目の産地化及びブランド化を早期に図るための整備事業に対し補助金を交付するもの。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業用ドローン導入支援</li> <li>・栗園地用乗用草刈機導入支援</li> <li>・生分解性マルチ実証事業</li> <li>・ピーマン高温障害果抑制実証事業</li> </ul>	① 補助金交付件数	件	目標値	5	5	5	0	0	スマート農業の推進を目的としたドローン導入支援（白ねぎ防除用）、栗園地管理の省力化を目的とした乗用草刈機購入支援、生分解性マルチ実証事業（ピーマン圃場）、ピーマン高温障害果抑制実証事業等に取り組んだ。農業用機械整備により生産基盤の強化が図られた。ピーマン栽培に係る高温障害果抑制実証事業では、夏場の遮熱を目的としたPOフィルムの効果検証を目的として取り組み、一部の生産者においては、障害果の減少という結果もみられたが、継続して検証が必要という評価となったため、令和6年度においても自費での効果検証を継続的に実施することとなった。生分解性マルチ実証事業については、令和6年度にかけて効果を実証するため、引き続き検証を行っていくこととする。	A.現状のまま継続
実績値	1	5	4	-	-									
%	達成率	20%	100%	80%	-	-								
					② -		目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							%	達成率	-	-	-	-		
4	情報化推進事務事業	総務課	庁舎内共通業務に関する統合型サービス利用推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス会議室システム運用管理</li> <li>・庁舎内統合型GISシステム運用管理</li> </ul>	① ペーパーレス会議数実績	会議	目標値	5	10	20	30	40	今後も安定したり利活用に資するため、必要な保守管理を継続するとともに、利用状況を踏まえた必要最小限の環境整備に努める。	B.見直しの上で継続-5 統合
							実績値	10	70	0	-	-		
						%	達成率	200%	700%	0%	-	-		
					② データー元管理業務数	業務	目標値	3	10	30	40	50		
							実績値	3	10	0	-	-		
						%	達成率	100%	100%	0%	-	-		
5	情報ネットワーク管理事業	総務課	本庁、支所及び出先機関（市内小中学校等の接続を含む）を結ぶ情報ネットワークの円滑な運営管理。	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報ネットワーク保守業務委託</li> <li>イントラネット保守委託料</li> <li>インターネット接続サービス利用料</li> </ul>	① 庁舎内リモート会議数	会議	目標値	5	10	20	30	40	整備したオンライン環境が有効に活用できるよう保守管理はもとより、必要な改善を図る。	A.現状のまま継続
							実績値	10	15	0	0	0		
						%	達成率	200%	150%	0%	0%	0%		
					② -		目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		
6	基幹電算事務事業	総務課	基幹系等電算システムの円滑な運営を図り、行政業務を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム標準化対応（Fit&amp;Gap、文字同定、事前移行作業）</li> <li>・IaaSサーバー更改対応</li> <li>・業務改善ツール活用（Kintone、電子申請システム、RPA等）</li> </ul>	① 行政手続き電子申請件数	件	目標値	100	1000	1000	0	0	電子申請システムについては、未整備事業の電子申請の要否を検討し、相応の整備を実施する。業務改善については、未利用ツールを廃止し、新たな業務改題に対応したツールを開発する。基幹システムの標準化については、令和7年度稼働に向け、進捗管理を徹底するとともに計画的な移行に向け、必要な作業を講ずること。	A.現状のまま継続
							実績値	1	47	161	-	-		
						%	達成率	1%	5%	16%	-	-		
					② AI-OCR、RPA活用業務数	業務	目標値	5	10	10	0	0		
							実績値	7	12	12	-	-		
						%	達成率	140%	120%	120%	-	-		

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-1「女性の活躍推進」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ポテンシャルある女性の就業機会創出への取組</li> <li>●女性の活躍を支援するための講座の開催</li> <li>●市民、企業、団体等への女性委員や管理職等の積極的な登用の推進</li> <li>●ワーク・ライフ・バランスの推進</li> <li>●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備（再掲）</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
		各種審議会等委員の女性登用率	50%	35.0%	

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	男女共同参画社会啓発事業	人権・部落差別解消推進課	男女共同参画社会の実現に向けて、男女が互いを認め思いやり、個性と能力が発揮できる男女共同参画のまちづくりをめざす	○第17回男女共同参画市民のつどいを開催 参加者 一般268人 実行委員会等関係者44人 ○男女共同参画啓発講座等の開催 ・市民講座 6回 参加者 204人 ・癒しのコンサート 参加者 一般208人 出演者17人 実行委員等関係者8人 ・放課後チャレンジ教室 5か所 参加者75人 コーディネーター等17人 ・男女共同参画出前講座 7か所 参加者241人	① 社会全体において男女が平等と感ずる割合	%	目標値	0	0	0	0	30	男女共同参画基本計画に沿った内容で市民講座や放課後チャレンジ教室等に工夫して取り組み、幅広い年代への啓発ができた。性の多様性の理解や、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の周知についても、様々な機会をとらえて実施し、市民理解が促進できた。今後も、誰もがその人らしく生きていける社会の実現をめざして、あらゆる機会を通じた啓発事業を根気強く継続する。	A.現状のまま継続
							実績値	0	0	0	-	-		
							達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	0	75		
							実績値	0	0	0	0	0		
							達成率	-	-	-	-	-		

# 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

## 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成</li> <li>●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携</li> <li>●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実</li> <li>●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実</li> <li>●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進</li> <li>●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進</li> <li>●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援</li> <li>●大分県立三重総合高等学校への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	69組
			地域子育て支援センター実施箇所数及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	89人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	6校

### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	結婚新生活支援事業	まちづくり推進課	結婚を希望する男女や、結婚したいが経済的に結婚に踏み切れないカップルが結婚に踏み出すための支援として、引越費用や新居の取得に係る経費、家賃等を補助する。	夫婦ともに39歳以下の新婚世帯に対し、新生活を始める際に係る経費を補助した。6件	① 対象者数	人	目標値	15	15	15	15	15	国の動向もみながら、今後も適正に事業の実施を行う。	A.現状のまま継続
							実績値	4	7	6	-	-		
							達成率	27%	47%	40%	-	-		
							② 婚姻数推計値	組	目標値	105	105	105		
実績値	93	72	69	-	-									
達成率	89%	69%	66%	-	-									
2	婚活支援事業	まちづくり推進課	結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供して結婚のきっかけづくりを行い、本市の人口減少の抑制へとつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談会の開催 6回</li> <li>・婚活イベントの開催 3回</li> <li>・婚活サポータースキルアップ研修 4回</li> <li>・婚活サポーター研修会 1回</li> <li>・婚活サポーター交流会及び情報交換会 4回</li> <li>・婚活イベント企画会議 3回</li> </ul>	① 相談者数	人	目標値	64	64	64	64	64	婚活支援は、少子化対策の重要な事業ととらえており、今後も適正に事業の実施を行う。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
							実績値	7	14	12	-	-		
							達成率	11%	22%	19%	-	-		
							② 参加人数	人	目標値	56	56	84		
実績値	115	54	58	-	-									
達成率	205%	96%	69%	-	-									
3	地域子育てサポート事業	子育て支援課	地域子育てサポート事業・・・子育ての手助けをして欲しい人「よろしく会員」と手伝い出来る人「まかせて会員」が相互援助活動を行うことにより子育て支援を行う。	まかせて会員（12人）が、よろしく会員（89人）を地域の中で相互援助した。《預かり14件、送迎0件》	① 相互援助活動の実施数	件	目標値	55	55	60	60	65	子育ての手助けが欲しい人と、子育ての手伝いができる人との相互援助事業で、子育てを地域でサポートするため継続が必要な事業のため、今後はまかせて会員の確保に努めていく必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	75	68	14	-	-		
							達成率	136%	124%	23%	-	-		
							② -	-	目標値	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-									
達成率	-	-	-	-	-									
4	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	地域の子育て家庭に対する育児支援を行うため、身近な地域で、育児不安についての相談・助言その他の援助や、親子の交流の場の提供を目的に、子育て支援センターの運営に努めます。	地域における子育ての拠点として、在宅親子や出産予定がある夫婦等の交流の場づくりや、育児に関する情報提供・育児相談等が実施できた。	① 地域子育て支援拠点事業の充実	人	目標値	1500	1500	1500	1500	1500	育児不安についての相談・助言等援助や親子交流の場の提供を行い、子育て家庭の支援として一定の成果を上げている。今後は、新規利用者を増やすとともに、他の地域の子育て支援センターと事業を行いながら連携を強化し充実した事業展開を行っていく。	A.現状のまま継続
							実績値	1469	703	914	-	-		
							達成率	98%	47%	61%	-	-		
							② -	-	目標値	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-									
達成率	-	-	-	-	-									

# 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

## 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成</li> <li>●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携</li> <li>●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実</li> <li>●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実</li> <li>●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進</li> <li>●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進</li> <li>●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援</li> <li>●大分県立三重総合高等学校への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	69組
			地域子育て支援センター実施箇所数 及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	89人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	6校

### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
5	子育て支援情報サイト業務委託事業	子育て支援課			① 新規ユーザーの割合	%	目標値	86	-	-	-	-	各種保育サービスに関する情報を掲載、必要に応じて更新をして一定の成果を上げた。令和4年度から、妊娠期から子育て期まで必要な時に適切な子育て支援情報が取得できる母子手帳アプリ「母子も」へ移行した。	C.終了
							実績値	85.74	0	0	-	-		
							達成率	100%	-	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
6	地域子育て支援センター委託事業	子育て支援課	市内5カ所（三重、清川、緒方、大野、犬飼）に支援センターを設置し、子育て中の親の孤独感や不安感、負担の増大等に対応することで、地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を行う。支援センター交流事業「なかよしこよしのつどい」を行い、センター間・保護者間の交流をする。	市内4か所に支援センター事業を委託し、子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行った。	① 利用人数	人	目標値	6000	6000	6000	6000	6000	コロナ後、以前のような全部の支援センターが集まったのつどいの場の開催はなくなったが、全ての支援センターをスタンプラリーで廻る事業などスタートし、利用者同士の交流が図られている。今後も事業形態を工夫しながら継続していきたい。	A.現状のまま継続
							実績値	5125	5576	5551	-	-		
							達成率	85%	93%	93%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
7	家庭訪問型子育て支援事業委託事業	子育て支援課	家庭訪問型子育て支援事業（ホームスタート）では、地域等から孤立する可能性のある家庭に訪問し、悩みを聞いたり、共に行動することで徐々に地域や他の親との交流を促す。	令和5年度のホームビジター養成講座は諸事情により中止し、令和6年6月に実施することとした。《訪問件数4件（訪問回数25回）》	① 家庭訪問型子育て支援事業ボランティア養成講座の開催	回	目標値	9	9	9	9	9	DVで避難した中で出産し、気持ちが不安定だった産後の母子を訪問してもらって、お母さんの話を聞いてもらって一緒に家事や育児をおこなってもらい、聞いてくれるだけでそれだけで気持ちが軽くなったと実際利用者からの声が聞かれた。今後も継続していきたい。	A.現状のまま継続
							実績値	9	9	0	-	-		
							達成率	100%	100%	0%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
8	医療的ケア児保育支援モデル事業	子育て支援課	保育所等において医療的ケア児の受け入れを可能とするための体制を整備し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図る。	医療的ケア児の入園希望対象児がいなかった。社会福祉課主催で医療的ケア児のについて協議の場はもった。	① 医療的ケア児の受け入れ	%	目標値	0	100	100	100	100	医療的ケア児の入園希望の対象児がいなかったため開催していない。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
							実績値	0	0	0	-	-		
							達成率	-	0%	0%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		

# 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

## 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成</li> <li>●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携</li> <li>●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実</li> <li>●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実</li> <li>●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進</li> <li>●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進</li> <li>●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援</li> <li>●大分県立三重総合高等学校への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	69組
			地域子育て支援センター実施箇所数 及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	89人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	6校

### 取組内容

No,	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
9	幼児療育支援事業	子育て支援課	療育機関受診や訓練を必要とする児は多く、訓練まで待機期間が長かったり、枠がなく家庭でそのまま対応しているケースも多くある。療育機関が対応できない中、地域で少しでも療育支援を勧めていくため。	きらきら教室を年9回実施、3歳児クラスの子どもとその保護者に園や保健師より声をかけてもらい100名の参加があった。作業療法士より39名に助言をもらった。プレ授業は市内すべての小学校に及びかけて97名参加し、作業療法士から36名の方がアドバイスをもらった。	① 医療機関等への受診期間月数	月	目標値	5	5	3	3	3	令和3年度から新規の事業としてスタートし事業効果は高いと感じます。きらきら教室についても作業療法士さんからの助言をもらい、プレ授業についても日頃から子どもの様子に周囲から指摘をうけ精神的にきつい思いをしていた保護者が作業療法士さんから個別のアドバイスをもらえた。今後は教育委員会と連携して一緒に、就学前後の切れ目のない支援のために拡充しながら続けていきたい。	B.見直しの上で 継続-1 拡充
							実績値	1	0	0	-	-		
							% 達成率	20%	0%	0%	-	-		
10	妊婦乳児支援事業	子育て支援課	妊婦の健康の保持増進を図り、安全・安心な妊娠・出産に資するため妊婦健康診査を実施する。母胎や胎児の健康確保を図る上で、定期的な健康診査の受診を勧奨する。聴覚障害は早期に発見され適切な支援が行われた場合は、聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから早期発見・早期療育が図られるよう全ての新生児を対象として出生時に医療機関での健診を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健康診査</li> <li>・新生児聴覚検査</li> <li>・乳児健康診査</li> <li>・ベリネイタルビジット事業</li> <li>・妊産婦健診等支援事業</li> </ul>	① 母子手帳の交付	人	目標値	166	164	162	160	158	母子保健法の規定に基づき、今後も妊婦健康診査について積極的な把握、受診勧奨、早期の支援に努めていきたい。国の2分の1の補助もあるので多胎児を妊娠した妊婦へ追加で受診する健康診査の費用を補助して、多胎妊婦の負担軽減も図っていきたい。R6年度妊婦に対する健康診査についての望ましい基準（超音波検診4回）まで事業を拡充した。R5、8から妊産婦の検診時の交通費の支援がスタートして、本市の基準で拡充をはかっている。	B.見直しの上で 継続-1 拡充
							実績値	118	125	108	-	-		
							% 達成率	71%	76%	67%	-	-		
11	幼児精密健診事業	子育て支援課	幼児精密健診を実施し、育児支援・発達障害の早期発見、支援・相談を行い、子どもの成長発達に関する親の理解を深め、一貫した支援体制につなげる。	新型コロナウイルス感染症に留意しながら、当初の計画どおり計10回の相談会を実施した。R5年度の幼児健診で要精密と判断された15名のうち14名が幼児健診フォローとして発達相談会を利用した。	① 幼児健診フォロー数	%	目標値	70	70	70	70	70	幼児精密健診を実施することにより、早期発見、早期支援につなげることができている。保健師と連携をとりながら幼児健診フォローとして相談会につなげている。臨床心理士が個別に発達相談に応じたり、医療機関につなぐために必要に応じて検査をしたり、個々の子どもへきめ細やかな支援ができている。	A.現状のまま継続
							実績値	69	76	93	-	-		
							% 達成率	99%	109%	133%	-	-		

# 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

## 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成</li> <li>●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携</li> <li>●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実</li> <li>●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実</li> <li>●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進</li> <li>●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進</li> <li>●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援</li> <li>●大分県立三重総合高等学校への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	69組
			地域子育て支援センター実施箇所数 及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	89人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	6校

### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
12	利用者支援事業（母子保健型）	子育て支援課	母子保健に関する相談に対応するため母子保健型を設置し、妊娠から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供する。保健師、助産師、臨床心理士等の専門職が、すべての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを作成することにより、妊産婦等に対しきめ細やかな支援を実施する。	・妊娠から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応した。・支援を必要とする者が利用できるサービスを選定し、情報提供した。・支援を必要とする妊産婦を早期に把握し、関係機関と協力して支援プランを作成した。配慮が必要な子育て家庭への支援をした。母子手帳の交付数（108人）	① 育児指導数	人	目標値	50	40	40	40	70	助産師を中心に特定妊婦、産後うつの方への対応など、多様なニーズに対応してくれた。コロナの影響でパパママ広場が昨年度から開催できていないが、心身の不調や育児不安のある方や、希望する妊婦さんへ、個別で育児技術支援（45名）を開催した。妊娠期の過ごし方や、子どものとの関わり方等、きめ細かな支援を行ってくれた。メンタル支援を要する妊婦さんには、産後も引き続き訪問やカウンセリングをしてくれた。臨床心理士も相談業務・発達相談会等業務・かじか業務。今後も引き続き円滑かつ効果的に事業が行えるように努めたい。R6から子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の一体的に相談支援を行う機能を有することも家庭センターとなるので、より相談支援体制を強化したい。	A.現状のまま継続
							実績値	111	89	68	-	-		
							%	達成率	222%	223%	170%	-		
						人	目標値	130	130	120	120	120		
							実績値	128	120	124	-	-		
							%	達成率	98%	92%	103%	-		
13	家庭訪問型子育て支援事業委託事業	子育て支援課	乳児家庭全戸訪問事業等により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童若しくは保護者に監護させることが不相当であると認められた児童及びその保護者又は出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦に対し、その養育が適切に行われるよう当該居宅において育児家事の援助、養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行うことを目的とする。	(育児家事支援68件) 食事、衣類、生活環境等、不適切な養育状態にある家庭に、民間団体を活用して、育児家事援助等の支援の提供を行った。(専門的相談支援 45件) 妊娠からの継続的な支援を必要とする家庭に、助産師等による支援を行った	① 家庭訪問	件	目標値	95	95	94	93	92	出産後間もない時期の養育者には、専門的相談支援ということで保健師、助産師、栄養士等が相談・支援を行った。食事、衣類、生活環境等について、不適切な養育状態にある家庭や、福祉サービスにつがっていない児童のいる家庭に対し、民間団体と2か所委託契約を結んで、育児・家事援助・通院送迎に重点を置いた必要な支援につなぐことができた。他のサービス等の目処のない家庭に対して、どのくらいの期間で支援をするかどうか等懸念する点も今後検討していきたい。今後、虐待のおそれやそのリスクを抱える家庭や、ヤングケアラーの家庭に対しても、養育環境の維持・改善等の支援が必要である。支援の対象や訪問支援者等の拡充・検討に努めたい。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	92	55	45	-	-		
							%	達成率	97%	58%	48%	-		
					-	目標値	-	-	-	-	-			
						実績値	-	-	-	-	-			
						%	達成率	-	-	-	-	-		

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成 ●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携 ●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実 ●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実 ●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進 ●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進 ●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援 ●大分県立三重総合高等学校への支援	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
		5年後婚姻数推計値	105組	69組	
		地域子育て支援センター実施箇所数 及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人	
		よろしく会員の利用人数（累積）	100人	89人	
		小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	6校	

#### 取組内容

No,	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
14	乳児家庭全戸訪問事業	子育て支援課	すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図ることを目的とする。	すべての乳児のいる家庭を訪問し支援を行った。ホームスタートなど子育て支援に関する情報提供を行った。育児に関する相談に応じ、産後うつ検討会を毎月開催し、支援方針を検討し支援につなげることができた。訪問数125件。	① 子育て情報の提供実施	%	目標値	100	100	100	100	100	産後訪問することによって、産後うつ等の早期把握も可能であるし、支援が必要な家庭にライしてサービスの提供を検討できるので、今後も現状を維持しながら継続していく必要がある。出産子育て交付金の出産後の支給要件となっているため、母子の受入れもいい事業だと思う。	A.現状のまま継続
							実績値	100	100	100	-	-		
						%	達成率	100%	100%	100%	-	-		
							② 産後うつ検討数	人	目標値	120	120	120		
実績値	128	54	51	-	-									
達成率	107%	45%	43%	-	-									
15	子育て短期支援事業	子育て支援課	保護者の疾病その他の理由により家庭において子どもを養育することが一時的に困難となった場合等に、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行うことにより、これらの子ども及びその家庭の福祉の向上を図る。	保護者が出産、就労等の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設等においてショートステイを行った。レスパイトでの利用が増えた。	① 利用児童数	人	目標値	5	5	5	5	5	保護者のレスパイトや、要保護児童の支援としての利用が増加した。委託先については母子と一緒に入所できるように母子生活支援施設も利用可能になった。市内のファミリーホームで委託が可能になり、委託先からの園への通園も可能になった。今後市内の委託先が更に充実が求められる。委託料についても他の市町村を参考にしながら改定の時期と思われる。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
							実績値	5	11	14	-	-		
					%	達成率	100%	220%	280%	-	-			
						② -	-	目標値	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-									
達成率	-	-	-	-	-									
16	子ども家庭総合支援拠点事業	子育て支援課	すべての子どもの権利を擁護し、子どもとその家庭及び妊産婦を対象に、実情の把握、子ども等に関する相談全般から通所・在宅支援を中心としたより専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行うため、子ども家庭総合支援拠点を設置する。	子どもの実状の把握、関係機関への情報の提供、相談等の対応、関係機関との総合調整を行った。児童記録表の作成業務を行った。児童管理システムを導入した。	① 個別支援会議の開催	回	目標値	28	28	28	28	28	児童虐待等の相談件数は年々増加しており、状況を把握するための業務量も多いため導入した児童管理システムの円滑に運用していく必要がある。子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターが一体的に相談支援が行える体制づくりを今後も充実していく。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	28	28	28	-	-		
					%	達成率	100%	100%	100%	-	-			
						② -	-	目標値	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-									
達成率	-	-	-	-	-									
17	要保護児童対策事業	子育て支援課	児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置し、機能強化を図るため、家庭相談員を配置し専門性を強化し相談業務の実施及び児童虐待の予防、対策を行う。	要保護児童対策地域協議会の代表者会議・児相連絡会・実務者会議・各町毎の個別支援会議・ケース支援会議を行い情報交換・支援方針の見直しを行った・支援の実施状況の進行管理と関係機関との連絡調整と行った。	① 実務者会議の開催	回	目標値	12	12	12	12	12	改正児童福祉法に基づき、R6から子育て世代包括支援センターと一緒に、こども家庭センターとなった。虐待対応や予防に向けて積極的・専門的な支援などを行う虐待対応専門員等配置に今後も強化していく必要がある。児童管理情報システムも導入でき、業務の作業効率の向上や事務の軽減を図っていく必要がある。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	12	12	12	-	-		
					%	達成率	100%	100%	100%	-	-			
						② -	-	目標値	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-									
達成率	-	-	-	-	-									



## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成</li> <li>●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携</li> <li>●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実</li> <li>●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実</li> <li>●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進</li> <li>●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進</li> <li>●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援</li> <li>●大分県立三重総合高等学校への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	69組
			地域子育て支援センター実施箇所数 及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	89人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	6校

#### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
18	児童館運営事業	子育て支援課	児童、乳幼児及びその保護者相互の交流の場をつくり、母親クラブ等の地域組織活動の育成を図る。	5か所の児童館で延べ11,186人に対し、児童等の遊びの場や親子の交流の場を提供した。	① 児童館利用人数	人	目標値	11500	11500	11500	11500	11500	3月末で千歳ふれあい児童館が廃館となった。残る大野児童館と朝地児童館も利用者数だけみると今後休館・廃館の方向と思われるが、両児童館とも放課後児童クラブとの兼ね合いで利用者数と思われる。子どもの居場所として協議を重ね児童館の今後のあり方を検討していきたい。	A.現状のまま継続
							実績値	11450	12053	11186	-	-		
							達成率	100%	105%	97%	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-	-								
達成率	-	-	-	-	-	-								
19	保護者負担金減免事業補助事業	子育て支援課	放課後児童クラブを利用する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、保護者負担金の一部を助成することにより、円滑な放課後児童クラブの利用促進を図り、児童の健全育成を支援することを目的とする事業。	29人の対象児童に472,250円の保護者負担金の減免を行った。	① 減免額	円	目標値	700000	700000	700000	700000	700000	経済的な負担軽減を図るために、今後も必要な事業と思われる。	A.現状のまま継続
							実績値	667478	563300	472250	-	-		
							達成率	95%	80%	67%	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-	-								
達成率	-	-	-	-	-	-								
20	放課後児童クラブ巡回派遣事業委託事業	子育て支援課	放課後児童クラブへの作業療法士による巡回派遣を実施し、支援を担当する職員や児童の保護者に対し、障がいや特性の早期把握、早期対応のための助言等の支援を行う事業。	13クラブに対し巡回派遣を行い、1クラブ当たり平均26人の児童が参加した。	① 参加児童数	人	目標値	30	30	30	30	30	放課後児童クラブで支援を有する子どもが多く、支援員等が作業療法士のアドバイスをもらって支援を有する子どものかかわりを学ぶことができる。今後も必要な事業である。	A.現状のまま継続
							実績値	25	25	26	-	-		
							達成率	83%	83%	87%	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-	-								
達成率	-	-	-	-	-	-								
21	放課後児童健全育成事業	子育て支援課	保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や長期休みに適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る事業。	13か所の放課後児童クラブで606人の登録児童の受入を行った。	① 登録児童数	人	目標値	550	550	550	500	500	保護者の就労等により、放課後児童クラブの重要性が高まっている。放課後や長期休みに適切な遊びや生活の場を与えることができたことで、一定の成果を上げている。今後においては、支援員や補助員の確保について努めていかなければならない。	A.現状のまま継続
							実績値	634	549	606	-	-		
							達成率	115%	100%	110%	-	-		
							② -	目標値	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-	-								
達成率	-	-	-	-	-	-								

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成</li> <li>●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携</li> <li>●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実</li> <li>●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実</li> <li>●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進</li> <li>●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進</li> <li>●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援</li> <li>●大分県立三重総合高等学校への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	69組
			地域子育て支援センター実施箇所数 及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	89人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	6校

#### 取組内容

No,	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
22	連携型地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	児童、乳幼児及びその保護者相互の交流の場をつくり、母親クラブ等の地域組織活動の育成を図る。	子育てに関する相談や親子の交流の場の提供等を行った。	① 利用人数	人	目標値	2500	2500	2500			児童館との連携型の子育て支援の場は今後とも必要と思われる。	---
							実績値	2273	2653	1632	-	-		
							% 達成率	91%	106%	65%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
					② -		実績値	-	-	-	-	-		
						% 達成率	-	-	-	-	-	-		
23	支援対象児童等見守り強化事業	子育て支援課	新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まる恐れがあることを踏まえ、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなげることができる体制の強化を推進するため、子どもの居宅を訪問するなどし、食事の提供等を通じた子どもの見守り体制を強化する。	子ども食堂と連携して、週2回の食事の提供を行い、子どもの状況把握を行った。要対協の構成メンバーにいたった子ども食堂と相互連携し、毎月情報共有をし、地域における子どもの見守り体制の強化を支援した。	① 子どもの見守りのための食事の提供	食	目標値	3500	4000	4000	4000	4000	要保護児童対策協議会の支援対象児童として登録されている子どもの居宅を訪問し、状況の把握や、食事の提供を行うことで、生活環境の把握ができ、養育支援訪問事業等で、家事援助等の支援に結ぶことが出来た。支援が必要であるにも関わらず行政の支援につながっていない家庭など、継続的な関わりが必要な家庭に対し食事を提供することで保護者が支援を受入れやすくなった。	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善
							実績値	3351	3949	3557	-	-		
							% 達成率	96%	99%	89%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
					② -		実績値	-	-	-	-	-		
						% 達成率	-	-	-	-	-	-		
24	出産・子育て応援交付金事業	子育て支援課	伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済的負担を軽減する。	令和5年4月以降に妊娠した人106人、出産した人118人に、きらきら子育て応援金を給付した。	① 出生後の赤ちゃん訪問		目標値		100	100			伴走型相談支援及び出産子育て応援交付金は、子育て応援券を廃止して、出産後は市独自の上乗せ分も入れて給付しており、経済的軽減を図る子育て施策として必要と思う。	---
							実績値		115	118	-	-		
							% 達成率		115%	118%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
					② -		実績値	-	-	-	-	-		
						% 達成率	-	-	-	-	-	-		
25	公立教育・保育施設管理運営事業	子育て支援課	幼児期の教育・保育は人格形成の基盤と生涯にわたる学習の基礎を培う極めて重要なものであり、子どもたちへの質の高い教育・保育の実施に努めます。また、保護者や地域の子育て力の向上を支援するため、保育サービスの拡充を図ります。	園児一人ひとりの発達状況に応じた保育・教育を実施した。また、保護者や地域のニーズに応え、一時保育、延長保育、病後児保育事業を実施した。さらに職員はスキルアップのための研修に参加した。	① 「安心して子どもを預けることができる」と回答した割合	%	目標値	100	100	100	100	100	公立教育保育施設として、関係機関と連携を取り合い、個々の発達状況・特性にあった保育・教育を実施し、一定の成果を上げている。今後においても、職員のスキルアップを図り、保護者のニーズに応えながら、地域とともに豊かな人間性をもった園児の育成に努めていかなければならない。支援が必要な子どもの受け入れや、1人ひとりの発達を把握し早期に支援につなぐため、医療的ケアが必要な子どもの受け入れ等も推進していきたい。	A.現状のまま継続
							実績値	96.5	100	100	-	-		
							% 達成率	97%	100%	100%	-	-		
							目標値	100	100	100	100	100		
					② 「子ども一人一人を理解し、大切に保育している」と回答した割合	%	目標値	100	100	100	100			
実績値	91.2	97.9	97.6	-	-									
% 達成率	91%	98%	98%	-	-									

# 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

## 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成</li> <li>●出会いサポートセンター「OIT Aえんむす部」や他市町村との広域的な連携</li> <li>●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実</li> <li>●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実</li> <li>●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進</li> <li>●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進</li> <li>●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援</li> <li>●大分県立三重総合高等学校への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	69組
			地域子育て支援センター実施箇所数及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	89人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	6校

### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
26	特別支援保育事業	子育て支援課	保育が必要である児童のうち、心身に障害を有する者の保育所における受入を促進し、健全児と同程度の保育を実施することで、障害児の健全な発達を図る。（県補助対象事業としてスタートするが、現在では県補助対象外につき市単事業として他市同様継続して実施。）	8か所の保育所等が障がい児を受け入れるために職員を加配し、32人の園児を保育した。	① 受入人数	人	目標値	10	10	10	10	10	支援の要する子どもは年々増加しており、今後も拡充が求められる事業と思われる。	A.現状のまま継続
							実績値	17	25	32	-	-		
							% 達成率	170%	250%	320%	-	-		
							② -							
27	延長保育事業	子育て支援課	就労形態の多様化に伴い、開所時間を超えて在籍園児を保育する事業	10か所の私立保育所等で延べ7,417人の園児に延長保育を行った。	① 利用人数	人	目標値	450	450	450	450	450	保護者の就労等で保育時間内の送迎が困難な場合に利用できるサービスは、就労形態の多様化などで今後も必要なサービスである。	A.現状のまま継続
							実績値	353	406	252	-	-		
							% 達成率	78%	90%	56%	-	-		
							② -							
28	預かり保育事業	子育て支援課	子ども・子育て支援事業を実施し、子ども・保護者の置かれている環境に応じた適切な利用を促進する。	8か所の私立認定こども園等で延べ3,349人の児童を預かり、保育を行った。	① 利用人数	人	目標値	4000	4000	3900	3900	3800	教育標準時間終了後、家庭での保育が困難な場合に通園している園等で子どもを預かる保育サービスは今後も必要である。	A.現状のまま継続
							実績値	3234	2008	3349	-	-		
							% 達成率	81%	50%	86%	-	-		
							② -							
29	一時保育事業	子育て支援課	保育所等を利用していない家庭において、一時的に家庭での保育が困難となった場合に、児童を一時的に預かる事業	5か所の市立保育所等で延べ79人の子どもの一時保育を行った。	① 利用人数	人	目標値	350	350	350	350	350	就労や保育料の無償化等で就園する子どもさんが増えているため、今後利用者は減少すると思われるが、母親のレスパイト等で必要な事業であると思われる。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	174	80	79	-	-		
							% 達成率	50%	23%	23%	-	-		
							② -							
30	病後児保育事業委託事業	子育て支援課	病気の回復期の児童を一時預かりすることで、保育所等に入所している児童等の保護者の仕事等社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を応援	3か所の病児保育施設に病気又は病気の回復期の児童を預かる事業を委託し、延べ1,059人の利用があった。	① 利用人数	人	目標値	700	700	700	700	700	回復期の児童を預かり事業で、子育てサポートしていくために必要な事業。利用したいが、利用枠がないという声もきかれるため、今後利用希望者が利用できる環境を拡充していく必要があると思われる。	A.現状のまま継続
							実績値	589	894	1059	-	-		
							% 達成率	84%	128%	151%	-	-		
							② -							

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成</li> <li>●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携</li> <li>●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実</li> <li>●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実</li> <li>●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進</li> <li>●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進</li> <li>●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援</li> <li>●大分県立三重総合高等学校への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	69組
			地域子育て支援センター実施箇所数 及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	89人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	6校

#### 取組内容

No,	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
31	小中一貫コーディネーター活用事業	学校 教育 課	会計年度任用職員として小中一貫コーディネーターを採用し小中一貫校の設置を進めていく。 ・豊後大野市の将来を担う児童生徒の育成のため小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進する。 ・小中一貫教育を実施していくことで、地域に学校を残し持続可能な地方の創造を図る。	小中一貫コーディネーターを1人配置し、学校運営協議会や小中一貫校合同会議を重ね小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進した。 ・施設一体型小中学校設置：清川・千歳町（令和6年度4月校舎供用開始） ・隣接型小中一貫校設置：緒方・大野・犬飼町	① 小中一貫校の設置	校	目標値	1	2	4	5	7	小中一貫コーディネーターを1人配置し、継続して小中一貫教育、郷土学を柱にした教育改革を推進した結果、施設一体型小中学校2校（清川・千歳町）、隣接型小中一貫校3校（緒方・大野・犬飼町）の設置の運びとなった。令和6年度は小中一貫教育の定着を進めながら、基本計画の令和7年度の7校設置に向け、三重町の小中一貫校設置を目指す。計画通り1人配置し活用できたと評価する。	A.現状のまま継続
							実績値	1	1	6	-	-		
							達成率	100%	50%	150%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
32	郷土の先輩事業	学校 教育 課	キャリア教育推進事業へ統合		① 生徒の評価	%	目標値	60	60	60	60	60	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善	
							実績値	67	91	0	-	-		
							達成率	112%	152%	0%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
33	キャリア教育推進事業	学校 教育 課	子どもたち一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育て、キャリア発達を促すもの。	小中学校におけるキャリア教育の推進 ・郷土の先輩特別授業：中学校7校 ・職業講話：小学校2校、中学校7校 ・匠のWAZA：小学校6校、中学校1校 ・職場体験学習：中学校7校 ・郷土学：全小中学校	① 小学校の授業や行事をキャリアの視点で見直しをしたか	%	目標値	90	92.5	95	97.5	100	A.現状のまま継続	
							実績値	90.9	95.5	93.1	-	-		
							達成率	101%	103%	98%	-	-		
							目標値	90	92.5	95	97.5	100		
34	特色ある学校づくり推進事業	学校 教育 課	小中一貫教育、学力向上、英語教育などをテーマとした取組を各学校が推進している。学校を地域コミュニティの核として、地域一体で小中一貫教育校の設置を進め、連携型小中一貫教育で培った「ふるさとを愛する子ども」に「将来もこのまちに住みたい」という心情を育み、「持続可能なまちづくり」につなげていくことを目指す。（各小中学校に対する補助事業）	各学校が、特色のある学校づくりに向け様々な研究課題を設定し、年間事業計画を立てて取組を行った。【研究課題】ジオ学習、郷土学、小中一貫教育、人権・部落差別解消教育、英語教育、キャリア教育、防災教育、情報教育など また、学校教育シンポジウムでICTを活用し、事業の取組内容を発表した。	① 補助事業実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	B.見直しの上で継続-2 手段等の改善	
							実績値	100	100	100	-	-		
							達成率	100%	100%	100%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
					② -	%	目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成</li> <li>●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携</li> <li>●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実</li> <li>●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実</li> <li>●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進</li> <li>●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進</li> <li>●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援</li> <li>●大分県立三重総合高等学校への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	69組
			地域子育て支援センター実施箇所数 及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	89人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	6校

#### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
35	学校教育力向上対策事業	学校教育課	豊後大野市教育委員会から地域全体に情報の発信や研修、学校生活の生徒に対する調査等を行うことにより、管内の小中学校の教育力の向上を目指す	・豊後大野市学校教育基本方針のグランドポスターの作成 ・家庭教育力UPリーフレットの作成 ・小学生（5・6年）、中学生（1・2年）を対象とした学校生活における満足度や意欲等についての学級集団診断の実施 ・小中学生（中学校3年生を除く）の学力テストの実施 ・学校教育力向上のための研修	① 学力の分析の実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	教育委員会から地域に向けた情報発信、学校生活に対する調査・分析や学力テストの実施、指導主事による学校教育力向上のための調査、研修、啓発等の取組は、小中学校の教育力向上を目指すために継続する必要がある、取組実績から達成できたと評価する。	A.現状のまま継続
							実績値	100	100	100	-	-		
					② -	%	達成率	100%	100%	100%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
36	資料館運営事業	社会教育課	資料館を基本施設として、各施設と共に市民等へ文化財に接する機会や情報を提供し、文化意識の高揚を図る	歴史的に重要な資料（古文書、古写真）の収集・公開・調査や、展示公開を行った。また、ジオパークの拠点施設として、学校教育でのふるさと学習の支援や、市民の生涯学習の拠点施設として取組を行った。	① 資料館入館者数	人	目標値	1000	1000	6000	6000	6000	成果指標の入館者数が増加に転じたことは評価できることであり、今後も引き続き増加に向けた業務の推進を進めていきたい。小中ふるさと学習が昨年よりは増加したとはいえ、目標値に届かなかったのは市内全校に学習が浸透したことも一因にあると思われる、今後も引き続きジオ学習などの学習支援を積極的に行う必要がある。こうした取組で市民の資料館に対する関心を高められるよう、資料の適切な保管体制や学習活動の推進による資料館業務の向上を目指したい。	A.現状のまま継続
							実績値	12404	9917	11632	-	-		
					② 講座・学校支援等実施件数	件	達成率	1240%	992%	194%	-	-		
							目標値	103	103	103	100	100		
37	小中学校ICT環境整備事業	学校教育課	GIGAスクール構想をはじめとした各種補助事業を有効活用し、学校のICT環境の整備・充実を図り、情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実を図る。また、課題の発見と解決に向けた主体的かつ協働的な学びを充実するとともに、児童生徒の情報活用能力を育成するために、ICTを活用した教育を推進する。	学校教育システム（県統合型校務支援システム・インターネット接続パソコン管理システム）、GIGAスクール対応複合機（校内プリンター・複合機の整理統合）を導入した。また、端末やネットワーク管理・セキュリティ対策、ICT支援員を含めた活用支援のほか、教職員向けの研修に取組んだ。	① ICT機器を使って授業ができる教職員の割合	%	目標値	80	82	83	84	85	GIGAスクール構想に基づき、学校のICT環境の整備・充実や情報化社会に適切に対応していくことのできる児童生徒の情報活用能力を育成する情報教育の充実、ICTを活用した教育の推進に向け、今後も継続した取組が必要である。システムの導入や複合機の統合など計画通り達成できたと評価する。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	79.1	94.2	100	-	-		
					② 高速大容量の通信ネットワークの整備	%	達成率	99%	115%	120%	-	-		
							目標値	100	100	100	100	100		
38	遠距離通学事業	学校教育課	遠距離通学児童生徒の通学手段の確保、遠距離通学による保護者負担の軽減を図る。		① ※補助事業に付き評価無し		目標値	0	0	0	0	0	A.現状のまま継続	
							実績値	0	0	0	-	-		
					②		達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	0	0		
		実績値	0	0	0	-	-							
		達成率	-	-	-	-	-							

# 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

## 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-2「結婚・妊娠・出産・子育て・教育環境の充実」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成</li> <li>●出会いサポートセンター「OITAえんむす部」や他市町村との広域的な連携</li> <li>●地域子育て支援拠点事業等の子育て支援サービスの充実</li> <li>●子育て支援情報の提供、相談・助言の体制整備 ●放課後児童クラブ・児童館の充実</li> <li>●子どもの貧困対策の推進 ●多様な保育サービスの充実 ●小中一貫教育校設置の推進</li> <li>●キャリア教育の推進 ●コミュニティ・スクールの充実 ●郷土学の推進</li> <li>●安全で快適な学校（幼稚園）施設・設備の充実 ●経済的・地理的条件が不利な子どもに対する支援</li> <li>●大分県立三重総合高等学校への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			5年後婚姻数推計値	105組	69組
			地域子育て支援センター実施箇所数 及び利用人数（累積）	6か所 15,000人	6か所 8,932人
			よろしく会員の利用人数（累積）	100人	89人
			小・中一貫教育校の設置数（累積）	7校	6校

### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
39	スクールバス運行管理事業	学校教育課	遠距離通学児童生徒の通学手段の確保、遠距離通学による保護者負担の軽減を図る。		①		目標値	0	0	0	0	0	A.現状のまま継続	
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	0	0		
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
40	就学援助事業	学校教育課	子どもが成長する過程において、等しく勉学に励むことができる環境づくりを進めることが必要であり、教育格差の解消に向け、家庭環境などにより就学が困難な児童生徒を対象とした支援を行う。 ※対象：生活保護世帯に準ずる世帯		①		目標値	0	0	0	0	0	A.現状のまま継続	
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	0	0		
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
41	特別支援教育就学奨励事業	学校教育課	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援学級の児童生徒を対象とした支援を行う。		①		目標値	0	0	0	0	0	A.現状のまま継続	
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	0	0		
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
42	要保護児童生徒援助事業	学校教育課	子どもが成長する過程において、等しく勉学に励むことができる環境づくりを進めることが必要であり、教育格差の解消に向け、家庭環境などにより就学が困難な児童生徒を対象とした支援を行う。 ※対象：生活保護受給世帯		①		目標値	0	0	0	0	0	A.現状のまま継続	
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	0	0		
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
43	三重総合高校の明日を拓く会補助事業	学校教育課	本市唯一の高等学校である三重総合高校を存続させるために支援を行う		①		目標値	0	0	0	0	0	A.現状のまま継続	
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	0	0		
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-3「高齢者の活躍推進」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護サービスのより身近で細やかなサービス提供体制の構築</li> <li>●元気高齢者及び要支援高齢者の自立支援</li> <li>●ICTを活用した介護予防システムの導入と推進</li> <li>●コミュニティカフェや認知症カフェ等の「通いの場」の活動支援</li> <li>●高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施</li> <li>●マイナンバーを活用した医療保険情報と介護保険データベースの連結利用</li> <li>●高齢者の有償ボランティアや就労の推進 ●生涯現役生産者への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
		健康寿命	男性 80.51歳 女性 85.10歳	男性 80.35歳 女性 84.16歳	

#### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	認知症高齢者個人賠償責任保険事業	高齢者福祉課	認知症高齢者と介護家族を市が加入する損害賠償責任保険の保険対象者とする事で、安心した在宅生活を送れるようにすること。	令和6年3月末の対象者は55名である。令和5年度の新規加入は9名、廃止は16名であった。	① -	-	目標値	0	0	0	0	0	認知症高齢者本人を市が加入する損害賠償責任保険の保険対象者とする事で、安心した在宅生活を送れるようにすることが目的であり、今後も事業の継続が必要である。	A.現状のまま継続
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	-	-		
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
2	高齢者世帯リフォーム支援事業	高齢者福祉課	高齢者の暮らしの安全確保のためバリアフリー改修工事等を行った住宅の所有者に対し、規定の補助金を交付する。	高齢者のために行う浴室改修工事(1件)に対し、補助金を交付した。	① -	-	目標値	0	0	0	0	0	浴室改修工事(1件)に対し補助金を交付した。高齢者のいる世帯にバリアフリー改修工事の費用を補助することにより、暮らしの安全確保や住環境の向上を図っており、今後も事業の継続が必要である。併せて、今後も周知を行い利用者の増加に努める必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	-	-		
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
3	配食サービス事業	高齢者福祉課	食事の確保が困難な高齢者に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行うことで地域での生活を支援する。	配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者(実利用者291名)に対し、バランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。	① -	-	目標値	0	0	0	0	0	配食サービス事業者と契約し、食事の確保が困難な高齢者に対してバランスの取れた食事の提供と安否確認を行った。在宅で自立した生活を支援するため、今後も事業の継続が必要である。	A.現状のまま継続
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	-	-		
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
4	緊急通報装置設置事業	高齢者福祉課	ひとり暮らし高齢者等に対して緊急通報装置を通した見守りサービスを提供することにより、急病・事故等の際における不安感の緩和を図り、緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。	ひとり暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することにより、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病などの緊急時に迅速に対応した。実利用90人、日常生活の相談32件、緊急通報11件であった。	① -	-	目標値	0	0	0	0	0	引き続き、ひとり暮らし高齢者等の世帯に緊急通報装置を貸与することで、高齢者の日常生活における不安感を解消し、急病・災害などの緊急時に迅速に対応する必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	-	-		
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-3「高齢者の活躍推進」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護サービスのより身近で細やかなサービス提供体制の構築</li> <li>●元気高齢者及び要支援高齢者の自立支援</li> <li>●ICTを活用した介護予防システムの導入と推進</li> <li>●コミュニティカフェや認知症カフェ等の「通いの場」の活動支援</li> <li>●高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施</li> <li>●マイナンバーを活用した医療保険情報と介護保険データベースの連結利用</li> <li>●高齢者の有償ボランティアや就労の推進 ●生涯現役生産者への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
		健康寿命	男性 80.51歳 女性 85.10歳	男性 80.35歳 女性 84.16歳	

#### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
5	在宅高齢者住宅改造助成事業	高齢者福祉課	高齢者の自立を支援し、介護者の負担軽減を図るために、居住する住宅を改造する必要があると認められる高齢者に対し、改造工事を行う場合に必要費用の一部を助成する。	段差解消1件、扉の取替1件の改造工事費用の一部を助成した。	① -		目標値	0	0	0	0	0	段差解消1件、扉の取替1件の改造工事の一部助成を行った。 今後も高齢者等が自宅において暮らしやすい生活ができるよう高齢者の自立を支援するため、介護者の負担の軽減を図るとともに、事業の周知を行う必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	-	-		
6	はり、きゅう治療費助成事業	高齢者福祉課	はり、きゅう、マッサージの施設を利用する者の経費を助成することにより、健康保持と福祉増進に寄与する。	70歳以上高齢者数は、令和6年3月末現在で12,114人であり、うち7.0%に当たる854人が、はり・きゅう治療費助成金を利用した。利用者一人当たりの利用回数は、3.2回(2,764回÷854人)であった。	① -		目標値	0	0	0	0	0	70歳以上の高齢者の7.0%に当たる854人がはり・きゅう治療費助成金を利用しており、高齢者の健康保持と福祉の向上に寄与したと考えられる。健康保持、医療費の抑制にも効果がある事業であるため、より積極的な広報を行い年間利用者数の増加に努める必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	0	0	0	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	0	0	0	-	-		
7	コミュニティカフェ運営事業	高齢者福祉課	住み慣れた地域で、高齢者の方がこことから健康を保つため、自立した生活を継続し、元気なところから通う地域拠点とする居場所（コミュニティカフェ）の充実を推進します。	新型コロナウイルス感染症が5類移行を受けて、週1回の開催に戻したことで、活動が活発化した。 しかし、以前から通っていた参加者が減るなど、この数年の自粛の影響が残っている。参加者は延べ7,177人であった。	① 介護認定新規申請者の平均年齢	歳	目標値	83	83	83	83	83	住み慣れた地域で高齢者がこころとからだの健康を保つため、自立した生活を継続し、元気な頃から通う居場所づくりとしてコミュニティカフェの充実を推進している。高齢者が安心して地域で済み続けるために必要な事業であり、活動を小地域に広げていくことも視野に入れながら、継続して支援を行う必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	83.4	84.2	83.4	-	-		
							% 達成率	100%	101%	100%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
8	認知症カフェ運営事業委託事業	高齢者福祉課	WHOによると、認知症予防（認知症の進行を遅らせること）には他者との交流が有効とされ、令和元年6月に閣議決定された「認知症施策推進大綱」においても、認知症カフェの普及が明記されています。 本市においても認知症の予防や認知症の方本人・家族の相談窓口とするため、認知症カフェを設置します。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、引き続き感染症対策を行いながら、毎週1回水曜日に開催した。 年間で48回実施し、延べ参加者1,122人とスタッフ1,111人の参加であった。	① 認知症カフェのスタッフ延べ人数	人	目標値	900	900	900	900	900	住み慣れた地域で安心して暮らすために認知症の方本人・家族の居場所・相談窓口として重要な役割を持つ事業であり、今後もカフェの開催が安定して継続できるように、委託事業者の指導及び支援を行っていく必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	779	761	1111	-	-		
							% 達成率	87%	85%	123%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
					② -		目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		



## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

### 基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-3「高齢者の活躍推進」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護サービスのより身近で細やかなサービス提供体制の構築</li> <li>●元気高齢者及び要支援高齢者の自立支援</li> <li>●ICTを活用した介護予防システムの導入と推進</li> <li>●コミュニティカフェや認知症カフェ等の「通いの場」の活動支援</li> <li>●高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施</li> <li>●マイナンバーを活用した医療保険情報と介護保険データベースの連結利用</li> <li>●高齢者の有償ボランティアや就労の推進</li> <li>●生涯現役生産者への支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
		健康寿命	男性 80.51歳 女性 85.10歳	男性 80.35歳 女性 84.16歳	

#### 取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
9	高齢者の保健事業と介護予防一体的事業	市民生活課	高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施し、切れ目のない支援に結びつけ、自立した生活ができる期間の延伸とQOL向上を目的とする。	・KDBシステム等を活用し、地区分析を行い、保健・医療・介護情報をHPやリーフレットにて市民へ周知。 ・管理栄養士、歯科衛生士の医療専門職2名を配置し、健康相談、健康教室を実施 ・健康状態不明者把握 35人 ・集団健診時の健康相談 33回 ・サロン、カフェ等での健康教室 17回	① 健康状態不明者の保健・医療等への接続率	%	目標値		0	30	40	40	高齢者福祉課、市民生活課国保年金係と健康推進室が一体となり、県後期高齢者医療広域連合や地域包括支援センター、市医師会等と連携し事業に取り組んでいる。国保データベースシステムを活用した地域の健康課題の分析、高齢者への個別支援、通いの場等への積極的な関与等の取組を行い、健康状態不明者の実態把握、集団健診時等の健康相談にも取り組んだ。令和6年度についても、継続し事業の推進に努めていく。	---
							実績値	0	0	34.3	-	-		
					達成率	-	-	114%	-	-				
					② 後期高齢者健診受診率（75歳到達者）	%	目標値	-	-	40	41	41		
実績値	0	0	44.6	-	-									
達成率	-	-	112%	-	-									
10	豊肥地域シルバー人材センター補助事業	商工観光課	公益社団法人豊肥地域シルバー人材センター（以下「シルバー人材センター」という。）が高年齢者の福祉の増進に資することを目的に行う事業（高年齢者就業機会確保事業や雇用開発支援事業）に要する経費について、補助金を交付する。	年度末会員数418人（うち豊後大野市293人）で、請負事業の受注件数は3,651件、受注金額は216,883,347円。就業延人数は29,620人。	① シルバー人材センターの会員数	人	目標値	450	450	450	450	450	シルバー人材センターは、高齢者の地域への労働力の供給・生きがいづくりの場として必要な組織である。近年は後継者不足で厳しい状況にもあるため、引き続き補助を行う必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	421	423	418	-	-		
					達成率	94%	94%	93%	-	-				
					② -	%	目標値	-	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-									
達成率	-	-	-	-	-									
11	生涯現役世代育成支援交付金事業	農業振興課	56歳以上65歳以下の新規就農者の就業意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。	農業大学校への事業説明を行い、制度の周知を行った。 ■交付金の交付2件 ■相談件数4件	① 営農継続者数	名	目標値	2	2	2	2	2	令和5年度は農大研修部卒業生2名に対し交付を行った。また、農大へ制度の周知を行い、その後、研修生から個別に相談を受けたところである。本事業の年齢層は、本市農業では十分活躍できる年齢層であり、意欲のある退職世代の就業意欲の喚起及び就農の定着を図るうえで必要な事業である。引き続き制度の周知と相談に対応をしていく必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	0	0	2	-	-		
					達成率	0%	0%	100%	-	-				
					② -	%	目標値	-	-	-	-	-		
実績値	-	-	-	-	-									
達成率	-	-	-	-	-									

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標②「豊かなひとを育む」

基本的方向②-4「関係人口の創出・拡大」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多機能型関係人口拠点施設の整備</li> <li>●二拠点居住による新しいライフスタイルの提供</li> <li>●都市住民、市民、地域外企業、地元企業、観光客等が交流する機会の提供</li> <li>●自治会等による他出子の組織化</li> <li>●ローカルベンチャーの立ち上げの支援</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			拠点施設の利用者数（累積）	5,200人	3,422人
			拠点施設の利活用による 新規事業創出数（累積）	22件	8件
			拠点施設で行うイベント・ セミナー等の参加者数（累積）	400人	170人

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	関係人口創出事業	ま ち づ く り 推 進 課	新しい時代の流れをつかみ、豊後大野の人や地域との深いつながりを築き、多様な人材の確保につなげていくため、都市住民などの多様な人材と地域内人材との融合により豊後大野出身者など外から地域を支える人材の確保など、関係人口の創出及び拡大に取り組む。	・関係人口マッチングサイトの管理運営 ・出身者等受入支援 ・指定管理者や県と連携した関係人口創出イベントの実施	① 事業創出数（累積）	件	目標値	0	3	5	7	7	引続き関係人口の創出・拡大に努める。	A.現状のまま継続
						%	実績値	0	0	8	-	-		
					%	達成率	-	0%	160%	-	-			
					② -	件	目標値	-	-	-	-	-		
						%	実績値	-	-	-	-	-		
					%	達成率	-	-	-	-	-			

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標③「豊かな自然・地域を未来へつなげる」

基本的方向③-1「ジオ・自然との共生」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●体験型自然教育や自然保護思想の啓発等の自然教育の推進</li> <li>●ジオサイトと道の駅や食を絡めた「体験型」・「交流型」の商品の造成</li> <li>●「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会」事業の推進</li> <li>●ユネスコエコパークの普及啓発活動の推進</li> <li>●本市独自のユネスコエコパーク次世代育成事業</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			ジオガイド認定者数（累積）	130人	130人
			ジオパークフレンドショップ 事業者数（累積）	45事業所	35事業所
			エコパーク普及啓発活動 自然学習会参加者数（累積）	700人	213人

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	エコパーク推進事業	商工観光課	ユネスコエコパークの普及啓発や自然に触れるイベントの実施や、ユネスコエコパークエリアであることを周知する看板などを設置することで、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」の普及啓発や、豊後大野市の宝である「豊かな生物多様性に育まれた自然の恵み」を将来に引き継ぐことを目的とする。	エコパークエリア内の設備や施設に対し、誘客促進のため修繕等を行った。また、イベントやツアーを実施し、エコパークエリアの自然体験や、啓発につながった。 ・修繕等（祖母山麓尾平青少年旅行村 エアコン10台導入、川上溪谷第1・2吊橋修繕、滞り峡階段手すり(木柵)改修)	① エコパーク普及啓発活動、自然学習会参加者数	人	目標値	70	340	460	580	700	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会で「保全」、「学術研究」、「持続可能な発展」に関する各種事業に取り組んでいる。また、観光施設の整備、点検を行うなど受入環境の整備も進んでおり、エコパークの普及啓発活動も行っている。引き続き協議会の事業に取り組むとともに、市独自の事業を継続していく必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	57	319	213	-	-		
						%	達成率	81%	94%	46%	-	-		
					② -		目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
						%	達成率	-	-	-	-	-		
2	ジオプロジェクト推進事業	商工観光課	ジオパーク基本計画に基づきジオサイトの保護・保全をするとともに、市民への啓発・普及活動により次世代に継承する。また、ジオサイトと道の駅や食を絡めた「体験型」・「交流型」の商品を造成し地域経済の活性化を図る。	・ジオサイト・サイン作成・設置業務 案内看板等を市内3か所に設置 ・ジオパーク専門員を雇用 学術研究や防災などの専門的活動を行った ・ジオパーク推進協議会負担金 おいた豊後大野ジオパーク推進協議会へ負担金を支出した	① ジオガイド認定者数（累積）	人	目標値	105	110	120	125	130	ジオパークの基本理念である、「教育」・「保護・保全」・「持続可能な発展」を基本として各種事業に取り組んでいる。また、今年度はガイド養成講座をガイド認定まで行うことができた。今後も普及啓発、教育活動を中心に事業展開をする必要がある。	A.現状のまま継続
							実績値	97	112	130	-	-		
						%	達成率	92%	102%	108%	-	-		
					② ジオパークフレンドショップ事業者数（累積）	事業所	目標値	37	39	41	43	45		
							実績値	34	36	35	-	-		
						%	達成率	92%	92%	85%	-	-		

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標③「豊かな自然・地域を未来へつなげる」

基本的方向③-2「移住・定住の促進」	具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ウェブサイトやSNSを活用した地域の魅力的な情報発信と情報拡散の取組</li> <li>●インキュベーションファーム事業による移住者への支援</li> <li>●移住コーディネーターとの連携による相談支援体制の強化の取組</li> <li>●関係人口の創出・拡大のための取組</li> </ul>	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
		各種移住施策による移住者数	100人	41人	
		インキュベーションファーム 事業による移住者数	3組6人	2組4人	

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	定住住宅補助事業(家財道具処分・空き家購入・改修補助(県内))	まちづくり推進課	市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した市外移住者や空き家所有者に対し、補助金を交付する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信による制度周知</li> <li>・空き家バンクの活動促進</li> <li>・空き家家財道具等処分補助金の交付 12件</li> <li>・空き家購入補助 6件</li> <li>・空き家改修補助 8件</li> </ul>	① 市外からの移住者数	人	目標値	60	70	80	90	100	移住定住策として、空き家活用を推進する。	A.現状のまま継続
							実績値	96	109	41	-	-		
							% 達成率	160%	156%	51%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
2	定住住宅補助事業(空き家購入・改修(県外))	まちづくり推進課	市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した県外移住者に対し、補助金を交付する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信による制度周知</li> <li>・空き家購入補助金の交付(県外移住者分) 5件</li> <li>・空き家改修補助金の交付(県外移住者分) 4件</li> </ul>	① 市外からの移住者数	人	目標値	60	70	80	90	100	移住定住策として、空き家活用を推進する。	A.現状のまま継続
							実績値	96	109	41	-	-		
							% 達成率	160%	156%	51%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
	定住住宅補助事業(家財道具処分補助(県外))	まちづくり推進課	市内に存在する空き家の有効活用による、地域活性化や移住定住の促進を図るため、空き家バンク制度を活用した県外移住者や空き家所有者に対し、仲介手数料補助、家財道具等の処分費用に対する補助、引越し補助をおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信による制度周知</li> <li>・空き家家財道具等処分補助金交付(県補助活用分) 3件</li> </ul>	① 市外からの移住者数	人	目標値	60	70	80	90	100	移住定住策として空き家の活用を推進する。	A.現状のまま継続
							実績値	96	109	41	-	-		
							% 達成率	160%	156%	51%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
3	空き家成約奨励金給付事業	まちづくり推進課	市内に存在する空き家の有効活用を通じた、地域活性化や移住定住を促進するため、空き家バンク制度を通じた物件の成約の際に物件所有者に奨励金を交付するもの。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信による制度周知</li> <li>・空き家成約奨励金の交付 20件</li> <li>・定住支援活動奨励金の交付 2件</li> </ul>	① 空き家バンク成約件数	件	目標値	20	20	25	25	30	移住定住策として空き家の活用を推進する。	A.現状のまま継続
							実績値	26	35	24	-	-		
							% 達成率	130%	175%	96%	-	-		
							目標値	15	15	20	20	25		
							実績値	20	20	20	-	-		
							% 達成率	133%	133%	100%	-	-		

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標③「豊かな自然・地域を未来へつなげる」

基本的方向③-2「移住・定住の促進」	具体的な取組	●ウェブサイトやSNSを活用した地域の魅力的な情報発信と情報拡散の取組	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
		●インキュベーションファーム事業による移住者への支援	各種移住施策による移住者数	100人	41人
		●移住コーディネーターとの連携による相談支援体制の強化の取組	インキュベーションファーム 事業による移住者数	3組6人	2組4人
		●関係人口の創出・拡大のための取組			

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
4	インキュベーションファーム事業	農業振興課	"次代の農業及び地域を担う新規就農者をホームページ等を通じて全国から募集し、次代の豊後大野市農業の担い手を確保する。 また、新規就農者技術習得研修施設（インキュベーションファーム）における栽培・管理等の実践研修、簿記研修等の農業経営研修により、新規就農者の育成を図ることを目的とする。"	第11期生の2年目の研修及び就農支援 2組 第12期生の1年目の研修支援 3組 第13期生の募集 2組入校	① 研修生の就農	組	目標値	2	2	3	3	3	豊後大野市が全国に誇る就農システムであるインキュベーションファーム事業。令和5年度までに25組50名が研修を終了し、市内に就農。そのうち1組が離農したが24組48名が営農を継続し、市内農家の中でも非常に優秀な成績で豊後大野市農業を牽引している。 令和5年度は11期生2組4名が就農し、12期生3組6名が2年目の模擬経営、13期生2組4名が入校し基礎実践研修をスタートさせた。 今後も、本市の新規就農システムとして拡充していく必要があるが、開始後12年を経過し社会情勢も変化していることから、研修終了後の住居の確保等、事業内容を見直していく必要がある。 また、新型コロナウイルスが5類に移行した影響もあり、他産業も人手不足の状態 で農業への就農相談が減少しており、就農学校の乱立もあるが、研修生の争奪戦となり、毎年研修生の確保に苦労している。	B.見直しの上で 継続-1 拡充
							実績値	2	2	2	-	-		
							%	達成率	100%	100%	67%	-		
					② 研修生の確保	組	目標値	2	2	3	3			
							実績値	2	3	2	-	-		
							%	達成率	100%	150%	67%	-		

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標③「豊かな自然・地域を未来へつなげる」

基本的方向③-3「小規模集落の支援」	具体的な取組	●地域コミュニティの集いの場の環境整備 ●地域の特性を生かしたコミュニティ活動の推進 ●地域を支える人材育成 ●地域の支えあい活動立上げの支援	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
			地域振興協議会設置数（累積）	15協議会	9協議会
			地域の支えあい活動立上げ（累積）	14か所	4か所

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価	
													所管課の所見	今後の方針
1	コミュニティ助成事業	まちづくり推進課	コミュニティ活動に必要な施設整備や備品購入等への支援を行う。	・コミュニティセンター助成事業 2団体 ・一般コミュニティ助成事業 3団体	① 採択団体		目標値	5	5	5	5	5	地域コミュニティ活動が活性化するよう、希望する団体には引き続き情報提供を行う。	A.現状のまま継続
							実績値	4	1	5	-	-		
							% 達成率	80%	20%	100%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
2	小規模集落対策委託事業	まちづくり推進課	高齢化率が45%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会に、地域の課題把握や協議会の運営等を行う地域支援員を配置し、住民が安心して暮らせる地域づくりの体制の整備を図る。	小規模集落対策事業業務委託の締結9団体 ワークショップ等の開催 ・緒方町小富士 役員会、協定書締結（5回） ・大野町東部地区 役員会（13回） ・協議継続又は新規地区対象研修会の開催（1回）	① 設置数	協議会	目標値	8	9	10	12	15	市民への支援体制の整備を検討し、引き続き支援を行う。	A.現状のまま継続
							実績値	7	8	9	-	-		
							% 達成率	88%	89%	90%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
3	小規模集落等支援補助事業	まちづくり推進課	小規模集落等において、地域による日元的かつ主体的な地域づくりの推進を図るため、地域住民や地域コミュニティ組織等が自ら集落等生活圏の維持及び活性化を考え、活力ある生きがいの創出等に対する取組みに対し経費の一部を補助することで豊かなコミュニティづくりの推進を図ることができる。 ・ネットワーク・コミュニティ推進事業 ・小規模集落等支援補助事業	○ネットワーク・コミュニティ推進事業 ・清川町支えあいまちづくり仕掛人会 ○小規模集落支援事業費補助金 ・申請団体：3団体 ・採択団体：2団体（ながたに振興協議会、緒方町天神区） ○地域振興協議会拠点整備補助金 ・白山地域振興協議会	① 採択件数	件	目標値	2	2	2	2	2	市民のニーズに対応し、更に支援を続ける。	A.現状のまま継続
							実績値	2	2	2	-	-		
							% 達成率	100%	100%	100%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
4	地域づくり交付金事業	まちづくり推進課	高齢化率が45%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会に、地域づくり計画に基づく活動を地域づくり交付金により支援し、地域の創意・工夫・責任による特色のある地域づくりの展開を図る。	地域づくり交付金の交付対象：9団体	① 設置数	協議会	目標値	8	9	10	12	15	市民のニーズに対応し、更に支援を続ける。	B.見直しの上で継続-1 拡充
							実績値	7	8	9	-	-		
							% 達成率	88%	89%	90%	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		
5	地域づくり交付金事業	まちづくり推進課	高齢化率が45%を超える旧小学校区単位に設立された地域振興協議会に、地域づくり計画に基づく活動を地域づくり交付金により支援し、地域の創意・工夫・責任による特色のある地域づくりの展開を図る。	地域づくり交付金の交付対象：9団体	② -		目標値	-	-	-	-	-		
							実績値	-	-	-	-	-		
							% 達成率	-	-	-	-	-		
							目標値	-	-	-	-	-		

## 第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理表

基本目標③「豊かな自然・地域を未来へつなげる」

基本的方向③-4「広域連携の促進」	具体的な取組	●地域資源を有効に活用した施策の展開 ●幹事会以下7つの専門部会における広域的課題に対する取組 ●全県下共同消防指令システムの整備	重要業績評価指標（KPI）	目標値（2025年度）	実績値（2023年度）
		大分都市広域圏での連携事業数（累積）	21事業	17事業	

取組内容

No.	事業名	所管課	事業の目的と内容	活動実績	成果指標	単位	達成度	R3	R4	R5	R6	R7	内部評価		
													所管課の所見	今後の方針	
1	地域創生事業	まちづくり推進課	「まち・ひと・しごと創生法」に基づく第2期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和3年度～令和7年度）について、豊後大野市総合戦略推進委員会において計画の検証・見直し等を行い、地方創生事業の推進を図る。	・豊後大野市総合戦略推進委員会の開催（1回） ・大分都市広域圏事業サイクリング大会の開催（3/20） ・愛媛大分交流事業の実施	① 大分都市広域圏での連携事業数	事業	目標値	21	21	21	21	21	まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき事業実施を行う。	A.現状のまま継続	
							実績値	17	17	17	-	-			
							%	達成率	81%	81%	81%	-			-
							目標値	-	-	-	-	-			
							実績値	-	-	-	-	-			
							%	達成率	-	-	-	-			